



FUSO REPORT

# 第62期 報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

扶桑化学工業株式会社

証券コード 4368

# 株主の皆様へ 日頃より格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。

## ■2019年3月期の業績について

当連結会計年度における経済環境は、米国経済は堅調に推移しているものの、中国は米中貿易摩擦の影響により景気減速が顕在化し始めました。欧州においても中国経済の影響に加え、政治不安等の問題もあり景気の減速感が強まりました。日本経済は、企業収益は底堅く推移し、雇用、所得環境の改善は継続し、総じて回復基調は続きました。しかし、下半期には中国の景気減速の影響、スマートフォン需要低迷により半導体業界が調整局面に入った影響により、企業の景況感は悪化し、企業業績に対する先行きの不透明感が増大しました。

このような情勢下、当社グループは成長のための経営基盤の更なる強化に努めました。増加が見込まれる当社製品に対する需要に対応するため、生産能力増強のための設備投資、物流・生産体制の見直し、原料の安定確保に取り組みました。また、コスト競争力強化のための効率化・コスト削減を推進するとともに、新製品開発のための研究開発体制の強化、国内、海外の顧客需要の掘り起こし、海外展開による拡張等、事業強化に努めました。

この結果、当連結会計年度の売上高は420億7千4百万円（前連結会計年度比4.6%増、18億5千3百万円増）となりました。営業利益は、減価償却費等のコストアップの影響で92億8千3百万円（同11.9%減、12億5千4百万円減）、経常利益は為替差益等の計上により98億5千4百万円（同4.9%減、5億1千2百万円減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度の特別損失の影響がなくなったことにより68億8千1百万円（同4.4%増、2億8千8百万円増）となりました。

## ■今後の展望について

### 【ライフサイエンス事業】

三井化学株式会社から営業権を承継した無水マレイン酸、フマル酸のビジネスは順調に拡大しています。2017年11月には、生産設備の譲受も完了し、鹿島事業所としてスタートしたことで、果実酸総合メーカーとしての位置づけはさらに強固なものとなりました。

さらに、2018年3月に着工したリンゴ酸新プラントの建設も順調に進んでおり、2019年7月の完成を予定しております。新プラントではコスト競争力の抜本的な強化を図り、国内唯一のメーカーから、世界No.1のリンゴ酸メーカーに大きく飛躍するよう取り組んでまいります。



代表取締役社長

中野 佳信

代表取締役会長

藤岡 実佐子

2018年3月にはグローバル企業が要求する国際食品安全マネジメントシステムである「FSSC22000」の認証を取得し、生産面だけでなく、品質面でも、グローバル展開を後押しできる体制を確立しました。

海外においては、中国の100%出資子会社の青島扶桑精製加工有限公司で、従来のクエン酸類の精製に加え、市場の拡大している電子材料向け高純度クエン酸の製造等、高付加価値製品のウエイトを増やします。また、人件費の高騰への対処として、生産設備の自動化によるコスト削減を強力に推進します。

一方、タイ、ベトナムを中心に加工食品市場が拡大している東南アジアにおいては、2017年4月に完成した東京研究所のテストキッチンを有効活用し、各国の食品や食材に適した食品添加物製剤の開発・製造を進め、同地域でのビジネス拡大を目指します。また、従来の日本、中国、タイでの展開に加え、新たに米国においても100%出資子会社のPMP Fermentation Products, Inc.社を通じ、食品添加物製剤等のマーケティングをスタートします。

商品開発におきましては、引き続き一次産業向け製品、食品添加物製剤の開発に加え、果実酸類の高純度品、コーティング品等の高付加価値製品の開発に注力していきます。今後も、果実酸総合メーカーとしてこれまで蓄積してきた販売チャネル、製造・開発ノウハウを最大限に活用し、さらなる売上および利益の拡大に尽力してまいります。

### 【電子材料および機能性化学品事業】

2018年9月と11月に超高純度コロイダルシリカ新規製造設備が京都第一工場及び京都

# ここに2019年3月期\*の当社グループの事業概況等をご報告させていただきます。

※2018年4月1日～2019年3月31日

第二工場に完成しました。これら設備は最新の技術を結集した仕様で、これまで以上に製造条件を高精度にコントロールする事が可能となり、これにより益々厳しくなるお客様の品質要求に応える事ができるようになりました。また生産能力は、2割から3割の向上となり、生産能力及び品質をさらに向上することで、当社超高純度コロイダルシリカ製品は益々お客様に安心して使用して頂けるものと確信いたして

おります。

研究開発におきましては、従来通りケイ素化学を基軸として多方面への事業展開を推進しております。半導体分野では微細化、高集積化が益々進んでおり、それらのニーズに対応すべく、さらに小さな粒子や硬い粒子、表面修飾した粒子等々の製品開発を続けていきます。

半導体研磨用途以外の新分野への製品開発につきましても、東京研究所に積極的に経営資

源を投下し、当社グループのコア技術である超高純度コロイダルシリカの合成技術を活かした中空ナノシリカやシリカナノパウダー関連で新製品開発を進めています。すでに顧客評価で高い性能を確認できた製品も得られており、数年内に半導体研磨用途以外の分野で売上40億円以上を目指します。

2019年6月



## PMP Fermentation Products, Inc.

PMP; Premier Malt Product



### ●歴史

PMPの歴史は、アイオワ州で小さなビール醸造所を運営していたLeisy3兄弟(1892年: Leisy Brewing Companies設立)が、1856年からアメリカ中東部ペオリア市のイリノイ川沿いにある古いビール醸造所を購入した時から始まります。1910年頃にはシカゴ近郊で最大のビール製造者になったものの、1920年の禁酒法によってビールの製造停止を余儀なくされました。



ビール醸造所の名残

### ●禁酒法

その後、工場を引き継いだPremier Malt Products Co.はケーキ・クッキーに使用する

モルト(麦芽)を製造。(ただ、従業員が家庭で飲むビールも作っていたようですが)禁酒法廃止後は、Pabst社が、家庭用ビールのモルトの製造を継続しました。

### ●グルコン酸ナトリウム

現在、PMPの主力製品であるグルコン酸ナトリウムの製造は、Pabst社がビール瓶の洗浄にグルコン酸ナトリウムを使用するために始めました。1987年に藤沢薬品工業(株)(現アステラス製薬(株))が工場買収後、2003年には当社がアメリカ事業の拠点として事業を継承しました。PMP製品の主原料である糖液はトウモロコシから作られますが、PMPIは米国トウモロコシの50%以上を産するコーンベルトの中心に所在し、原料調達に有利な環境でビジネスを行っています。主に中国からの輸入品との競争はありますが、昨年アンチダンピング提訴にて当社に有利な決定を米国政府より受け、現在はアメリカ唯一のグルコン酸ナトリウムメーカーとして米国内シェア約80%~90%を保持

しています。PMPが製造販売するグルコン酸類は、コンクリートの凝結遅延、洗剤のキレート、金属表面処理、融雪、肥料、食品のpH調整など、様々な用途に使用されています。自然環境に存在するグルコン酸類のような“環境に優しい素材”へのニーズが年々高まっており、米国内グルコン酸類マーケットも拡大し続けています。業績の拡大に伴ってグループ内での重要度も高まってきており、今後もライフサイエンス事業の海外ビジネスを牽引していきます。





# 事業概況 ライフサイエンス事業／電子材料および機能性化学品事業

● ライフサイエンス事業  
252億5百万円

59.9%

売上高の比率  
(連結)



40.1%

● 電子材料および機能性化学品事業  
168億6千9百万円

**ライフサイエンス事業**の業績は、外部顧客に対する売上高が252億5百万円(前連結会計年度比3.6%増、8億8千6百万円増)、営業利益は35億1千3百万円(同3.9%増、1億3千1百万円増)となりました。

国内外の拡販および主要原料価格変動に対応した販売価格改定に努めました。また、海外子会社の現地販売が各地域とも堅調に推移したことに加え、米国子会社PMP Fermentation Products, Inc.のアンチダンピング提訴が認められたことにより米国の需要を取り込むことができ、売上高は前連結会計年度を上回りました。営業利益は、中国に対する特惠関税の廃止による原料価格や輸入仕入価格の上昇、アンチダンピング提訴に伴う費用計上の影響があったものの、拡販、コスト削減に努めた結果、前連結会計年度を上回り、増収増益となりました。

増加が見込まれるリンゴ酸の需要を取り込むため建設

**電子材料および機能性化学品事業**の業績は、外部顧客に対する売上高が168億6千9百万円(前連結会計年度比6.1%増、9億6千6百万円増)、営業利益は69億6千3百万円(同15.9%減、13億1千6百万円減)となりました。

第4四半期において、半導体市場は調整局面に入り当社製品「超高純度コロイダルシリカ」の出荷に影響がありましたが、総じて見ますと、順調に推移しました。ナノパウダー等の半導体研磨分野以外に使用される製品の販売も引き続き堅調に推移し、売上高は前連結会計年度を上回りました。一方、営業利益は、設備投資に伴う減価償却費の増加、増産体制確立のための要員確保による人件費の増加、原料価格の上昇等の影響が大きく、売上の増加、増産による原価低減効果、その他コスト削減に努めたものの、前連結会計年度を下回り、増収減益となりました。

現状、半導体業界は調整局面と言われていますが、今後も半導体製造プロセスの微細化は進展し、需要が継続して増加していくものと想定されます。増加する需要にこたえるため、生産能力の増強、品質安定化のための設備投資、生産要員の確保、分析能力の向上、出荷体制の見直し

中の鹿島事業所の新規設備の工事は、順調に進捗しています。

### 事業内容

リンゴ酸やクエン酸等の果実酸を含む有機酸全般およびそれらを混合した製剤等の応用開発商品の製造・販売・開発を担っているのが「**ライフサイエンス事業**」です。リンゴ酸は国内唯一の製造会社として、国内はもとより世界市場でも高い販売シェアを占めています。また、クエン酸・グルコン酸においても、日本のトップメーカーとしての地位を確固たるものにしていきます。

2014年10月には三井化学株式会社から営業権を取得した無水マレイン酸、フマル酸等の有機酸も加わり、ライフサイエンス事業の基盤は強固なものとなっています。これらの商品は、食品加工から電子材料分野まで幅広い分野で使用されており、その市場はアジアを中心に拡大しています。中国・タイに製造・販売・開発拠点を持つ当社グ

等に継続して対応しました。京都事業所における設備投資も順調に進捗しています。

### 事業内容

当社グループのもうひとつの柱である「**電子材料および機能性化学品事業**」の製品群の多くは、半導体業界に必要な製品として使用されています。1987年にシリコンウエハの精密研磨剤向けに製品化した純度99.9999%の「超高純度コロイダルシリカ」は、シリコンウエハの精密研磨剤原料としてトップシェアを誇っています。更にその技術はナノレベルの精度が要求されるCMP(化学的機械的平坦化)分野でも、メモリデバイスやロジックデバイスなどの多層化・高集積化に活かされています。最近では、粒子径の微細化、ロット間の均一性、粒子形状の制御や表面修飾等の技術を活かし、電子情報機器向けのナノフィラー、樹脂添加剤など様々な用途にも採用されています。このため、需要はさらに拡大しており、これら要求に万全な体制で応えるために、生産拠点である「京都第一工場」、「京都第二工場」の拡充を進めており、2018年9月と11月に新規設備が完成し、超高純度コロイダルシリカの供給体制が充実しました。また、2020年2月完成を目指して、シリカ

ループの強みを活かし、成長市場へ経営資源を集中することにより、今後も更なる発展・成長を続けていきます。

### 売上高 (単位:百万円)



ナノパウダー設備の増設を計画しており、ナノパウダー製品についても供給体制の拡充を行います。

開発関連としては、2013年7月に開設した東京研究所につきましても増床・増員を行ない半導体研磨分野以外への製品開発を進めています。一方、ライフサイエンス事業の技術をもとに製造される超高純度クエン酸溶液や高純度有機酸などは、シリコンウエハ洗浄剤やCMPスラリーへの添加剤等の半導体分野でもその用途を拡大しています。

### 売上高 (単位:百万円)



# 連結財務諸表(要旨)

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科 目         | 当連結会計<br>年度末<br>(2019年3月31日現在) | 前連結会計<br>年度末<br>(2018年3月31日現在) |
|-------------|--------------------------------|--------------------------------|
| <b>資産の部</b> |                                |                                |
| 流動資産        | 39,668                         | 39,472                         |
| 現金及び預金      | 10,864                         | 18,940                         |
| 受取手形及び売掛金   | 10,885                         | 11,279                         |
| 商品及び製品      | 6,399                          | 6,339                          |
| 仕掛品         | 297                            | 280                            |
| 原材料及び貯蔵品    | 1,354                          | 1,389                          |
| その他         | 867                            | 1,242                          |
| 固定資産        | 33,788                         | 24,758                         |
| 有形固定資産      | 29,444                         | 21,330                         |
| 建物及び構築物     | 8,311                          | 5,763                          |
| 機械装置及び運搬具   | 7,736                          | 3,364                          |
| 土地          | 6,892                          | 3,061                          |
| 建設仮勘定       | 6,101                          | 8,721                          |
| その他         | 403                            | 420                            |
| 無形固定資産      | 2,390                          | 991                            |
| 投資その他の資産    | 1,952                          | 2,437                          |
| 投資有価証券      | 929                            | 964                            |
| 長期前払費用      | 133                            | 245                            |
| 繰延税金資産      | 648                            | 926                            |
| その他         | 240                            | 300                            |
| <b>資産合計</b> | <b>64,457</b>                  | <b>64,231</b>                  |

| 科 目            | 当連結会計<br>年度末<br>(2019年3月31日現在) | 前連結会計<br>年度末<br>(2018年3月31日現在) |
|----------------|--------------------------------|--------------------------------|
| <b>負債の部</b>    |                                |                                |
| 流動負債           | 7,298                          | 12,270                         |
| 支払手形及び買掛金      | 1,895                          | 2,463                          |
| 未払金            | 3,272                          | 5,894                          |
| 未払法人税等         | 952                            | 1,687                          |
| その他            | 1,178                          | 2,225                          |
| 固定負債           | 1,815                          | 1,814                          |
| 繰延税金負債         | 61                             | 31                             |
| 退職給付に係る負債      | 1,652                          | 1,642                          |
| その他            | 102                            | 140                            |
| <b>負債合計</b>    | <b>9,114</b>                   | <b>14,084</b>                  |
| <b>純資産の部</b>   |                                |                                |
| 株主資本           | 53,724                         | 48,480                         |
| 資本金            | 4,334                          | 4,334                          |
| 資本剰余金          | 4,820                          | 4,820                          |
| 利益剰余金          | 44,573                         | 39,329                         |
| 自己株式           | △4                             | △4                             |
| その他の包括利益累計額    | 1,618                          | 1,659                          |
| 非支配株主持分        | —                              | 7                              |
| <b>純資産合計</b>   | <b>55,342</b>                  | <b>50,146</b>                  |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>64,457</b>                  | <b>64,231</b>                  |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科 目             | 当連結会計年度<br>(2018年4月 1日から<br>2019年3月31日まで) | 前連結会計年度<br>(2017年4月 1日から<br>2018年3月31日まで) |
|-----------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 売上高             | 42,074                                    | 40,221                                    |
| 売上原価            | 25,944                                    | 22,980                                    |
| 売上総利益           | 16,130                                    | 17,241                                    |
| 販売費及び一般管理費      | 6,847                                     | 6,704                                     |
| 営業利益            | 9,283                                     | 10,537                                    |
| 営業外収益           | 581                                       | 129                                       |
| 営業外費用           | 10                                        | 299                                       |
| 経常利益            | 9,854                                     | 10,367                                    |
| 特別利益            | 34                                        | 0                                         |
| 特別損失            | 93                                        | 961                                       |
| 税金等調整前当期純利益     | 9,795                                     | 9,407                                     |
| 法人税等            | 2,914                                     | 2,814                                     |
| 当期純利益           | 6,881                                     | 6,593                                     |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 0                                         | 0                                         |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 6,881                                     | 6,592                                     |

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科 目              | 当連結会計年度<br>(2018年4月 1日から<br>2019年3月31日まで) | 前連結会計年度<br>(2017年4月 1日から<br>2018年3月31日まで) |
|------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,148                                     | 4,845                                     |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △15,356                                   | △8,024                                    |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,639                                    | △1,675                                    |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 140                                       | △200                                      |
| 現金及び現金同等物の増減額    | △8,706                                    | △5,054                                    |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 18,930                                    | 23,985                                    |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 10,223                                    | 18,930                                    |

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

### Point 1

(連結貸借対照表)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億2千6百万円増加し、644億5千7百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べ49億7千万円減少し、91億1千4百万円となりました。これは主に、未払金、未払法人税等、役員退職功労引当金の減少によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ51億9千6百万円増加し、553億4千2百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

### Point 2

(連結損益計算書)

当連結会計年度における連結業績は、超高純度コロイダルシリカなどの当社主力製品の販売が総じて好調に推移し、フマル酸や海外子会社でのグルコン酸類の販売増もあり、売上高は過去最高となりました。

一方、引き続き販売価格の改定やコスト削減をすすめましたが、原材料価格の上昇や償却費増の影響により、営業利益においては前連結会計年度の実績を下回りました。

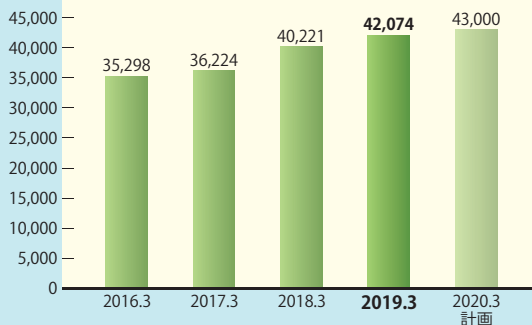
### Point 3

(連結キャッシュ・フロー計算書)

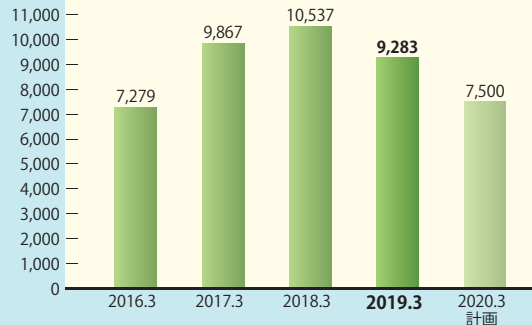
当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)=税金等調整前当期純利益および減価償却費の発生により取得した資金を有形固定資産の取得、法人税等の支払、役員退職功労金、配当金の支払に充てた結果、前連結会計年度末に比べ87億6百万円減少し、102億2千3百万円となりました。

## 業績ハイライト(連結)

売上高 (単位: 百万円)



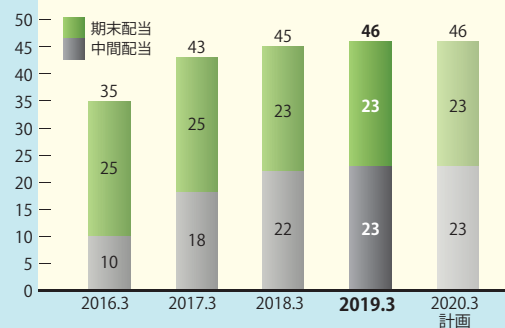
営業利益 (単位: 百万円)



償却前営業利益 (単位: 百万円)



配当の状況 (単位: 円)



## 業績の推移

|                      | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 (計画) |
|----------------------|----------|----------|----------|----------|---------------|
| 売上高(百万円)             | 35,298   | 36,224   | 40,221   | 42,074   | 43,000        |
| 営業利益(百万円)            | 7,279    | 9,867    | 10,537   | 9,283    | 7,500         |
| 経常利益(百万円)            | 7,299    | 10,038   | 10,367   | 9,854    | 7,600         |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 4,716    | 6,895    | 6,592    | 6,881    | 5,200         |
| 償却前営業利益(百万円)         | 9,077    | 11,209   | 12,150   | 12,327   | 12,600        |
| 1株当たり当期純利益(円)        | 143.76   | 194.22   | 185.67   | 193.81   | 146.46        |



# 株式情報

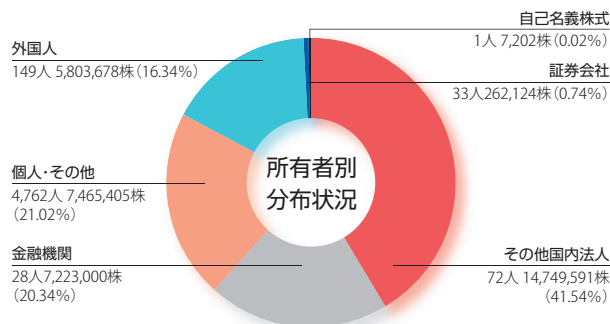
## 株式の状況

(2019年3月31日現在)

- 発行可能株式総数：95,000,000 株
- 発行済株式の総数：35,511,000 株  
(自己株式が 7,202 株含まれています。)
- 株主数：5,045 名

## 株主の分布

(2019年3月31日現在)



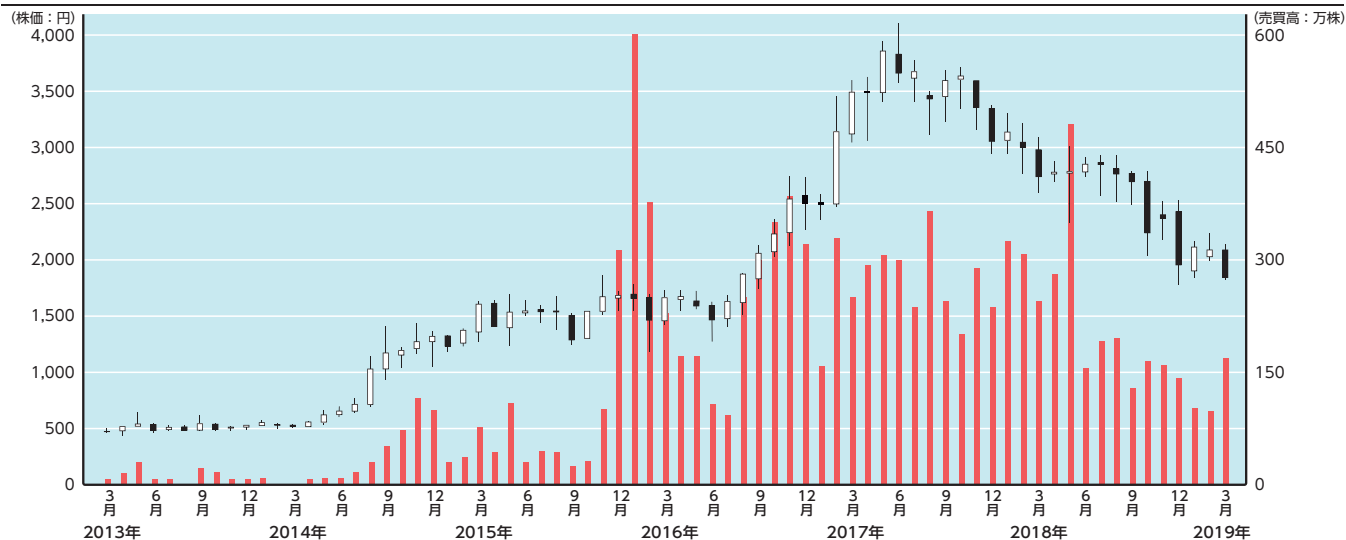
## 大株主

(2019年3月31日現在)

| 株主名                         | 持株数       | 持株比率   |
|-----------------------------|-----------|--------|
| 株式会社壽世堂                     | 5,596,265 | 15.76% |
| 帝國製薬株式会社                    | 3,328,000 | 9.37%  |
| 赤澤 庄三                       | 3,085,965 | 8.69%  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)   | 2,564,200 | 7.22%  |
| 大阪中小企業投資育成株式会社              | 1,500,625 | 4.23%  |
| BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND | 1,470,500 | 4.14%  |
| 有限会社帝産                      | 1,375,000 | 3.87%  |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)     | 1,203,600 | 3.39%  |
| 株式会社日本触媒                    | 1,186,500 | 3.34%  |
| 株式会社りそな銀行                   | 792,500   | 2.23%  |

・持株比率は、自己株式数を控除して計算しています。

## 株価の推移※



※2014年10月1日付の株式分割(1:5)に伴い調整を行っています。

# 会社概要

## 会社概要

- 商号** 扶桑化学工業株式会社  
**■創業** 1952年(昭和27年)  
**■設立** 1957年6月24日(昭和32年)  
**■資本金** 43億3,404万7,500円  
**■本社** 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋四丁目3番10号  
 (日生伏見町ビル新館5階)  
 TEL.(06)6203-4771(代)
- 東京本社** 東京都中央区日本橋小舟町6番6号(小倉ビル7階)  
**■事業所**
 新大阪事業所 大阪府大阪市淀川区新高二丁目6番6号  
 京都事業所  
   京都第一工場 京都府福知山市長田野町一丁目5番地  
   京都第二工場 京都府福知山市長田野町二丁目8番地  
 鹿島事業所 茨城県神栖市東和田20番地  
 東京研究所 神奈川県川崎市高津区坂戸三丁目2番1号  
   (かながわサイエンスパークR&D棟 A206~A208)  
 大阪工場 大阪府堺市西区築港新町三丁目27番地10  
 十三工場 大阪府大阪市淀川区野中北二丁目10番30号
- 主要子会社** 株式会社扶桑コーポレーション  
 (国内)
- 主要子会社** 青島扶桑精製加工有限公司(中国)  
 (海外) PMP Fermentation Products, Inc.(アメリカ)  
 FUSO (THAILAND) CO., LTD.(タイ)

## 役員

(2019年6月21日現在)

- 名誉会長および取締役**  
 ファウンダー 名誉会長 赤澤 庄三  
 代表取締役会長 藤岡 実佐子  
 代表取締役社長 中野 佳信  
 常務取締役 政氏 晴生  
 (電子材料事業部長)  
 常務取締役 谷村 隆史  
 (ライフサイエンス事業部管掌 兼 企画開発室長)  
 取締役 梶本 源樹  
 (ライフサイエンス事業部長 兼 営業開発部長)  
 取締役 杉田 真一  
 (管理本部長 兼 イノベーション推進室管掌)  
 取締役 多田 智美(社外)
- 取締役 監査等委員 赤澤 敬敏(社外・常勤)  
 取締役 監査等委員 木下 善樹(社外・独立)  
 取締役 監査等委員 江黒 早耶香(社外・独立)  
 取締役 監査等委員 村上 敬司(社外・独立)
- 執行役員**  
 執行役員 中司 哲浩  
 (株式会社扶桑コーポレーション 代表取締役社長)

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月末日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人および  
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人  
 事務取扱場所 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) ☎0120-782-031  
 (インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

## 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

## 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しています。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

- 公告の方法 電子公告とする(<https://www.fusokk.co.jp>)
- 上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部

## 【利益配分に関する基本方針及び配当】

当社は、剰余金の処分につきましては、長期にわたり安定的に株主の皆様へ報いるという基本方針のもと、企業体質の強化ならびに今後の事業展開を勘案して行うこととしております。

第62期の期末配当金につきましては、当期の業績を踏まえ、1株につき23円とさせていただきます。

これにより既の実施済みの中間配当金23円を加えた年間配当金は、前期と比べ1円増配の、1株につき46円となります。次期の年間配当金につきましては、1株につき46円(うち、中間配当23円)を予定しています。



<https://www.fusokk.co.jp>



VOC(揮発性有機化合物)成分フリーの  
インキを使用して印刷しました。